ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	
		□国語 □社会 □算数・数学 □理科 □外国語・外国語活動 □生活 □音楽	
授業について	教科領域名	□図画工作・美術 □体育・保健体育 □技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業	
	(✔又は■で	□特別の教科 道徳 □総合的な学習(探究)の時間 □日常生活の指導	
	記入する。)	□生活単元学習 □作業学習 □遊びの指導 ☑特別活動 □自立活動	
		□その他()	
	単元(題材)名	自己紹介をしよう	
	単元(題材)の目標	・他の盲学校の友だちとのやり取りを楽しむ。	
		・自分のことをわかりやすく相手に伝える。	
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学 部 3 年 1 人	
	+ 光 二 (昭++/) > ナ	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。	
	本単元(題材)にお	・弱視、軽度知的障害を併せ有する児童。	
	ける学習集団の	他校参加13名	
態	主な実態		
ICT活用について	使用した支援機	※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。	
	器・教材の名称	教師:PC、大型電子黒板、web カメラ、マイク、スピーカー	
		※使用したアプリケーション名を記入する。 アプリマーク	
	使用したアプリケ ーションの名称	ZOOM Cloud Meetings	
	一クョクの名称		
	主な活用の用途 (✓ 又は■で 記入する。)	(複数選択可能)	
		☑コミュニケーション支援	
		□活動支援(□情報入手支援 □機器操作支援 □時間支援) □学習支援(□教科学習支援 □認知発達支援 □社会生活支援)	
		・小学部の在籍が1名のため、友だちとの関わりが少ない。ICT機器を活用すること	
	ICT活用の	で友だちとの関わる機会を増やしたいと考えた。	-
	ねらい	CAR JEVIAN VIALE CONTROL	
活用の状況と支援	活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。	
		・児童の目線(大型の画面を見てもカメラに目線が向く、	
		声を聴いているときも自然にカメラの方を向くよう)に	
		配慮し、機器を設置した。	
		・友だちの前で自己紹介したり、質問したりすることがで	
		きた。	
		・友だちの発表や質問の答えに耳を傾け、驚いたり喜んだ	
		りして楽しむことができた。	
		・次回、国語の学習をしたり、昼休みに交流をしたりと次の機会にもつながった。	